

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			ワンフロアの中で活動スペースを区別している。 各スペースは適切に確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			毎日、基準配置数以上の人数を配置するよう心掛け、職員の急病や急用にも対応できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		活動スペース内は全てバリアフリーだが、施設が2階にあるため階段がある。 階段の両サイドには手すり、階段には滑り止めを施して安全確保を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			毎日、朝礼と終礼で全体会議を行い、日々の目標や設定を話し合うなど努力している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		評価表を参考に改善対策に取り組んでいる。 日々の保護者との関わりを大切に、意見や希望を取り入れて業務改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			毎年度、最新の評価結果をホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	2	第三者による外部評価を取り入れられるよう努力したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			主に「こどもふくし協議会」の研修に参加し、様々な資質向上に取り組んでいる。 また、事業所内研修も定期的を実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		毎日の朝礼や終礼にて児童それぞれの結果を話し合い、次の支援に役立てている。 また、計画書やアセスメントを参考に支援に取り組んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4		経過記録や日誌を参考に児童それぞれの支援に役立てている。

適切な支援	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		毎日リーダーを決め、中心となってプログラムの立案に取り組んでいる。 日々の活動プログラムを立てて支援に取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		日々、違った活動プログラムを実行している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		平日、休日、長期休暇ともに、それぞれの活動プログラムを組んで支援に取り組んでいる。

の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			児童全員の状況を把握し、個別支援、集団活動を実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日の朝礼で支援内容の確認、担当を取り決めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			毎日の終礼で児童全員に対する支援の結果を確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援日誌を作成し、細かく記録を残している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		児発管をリーダーとしてモニタリングを行い、必要に応じて変更、継続支援を実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		複数の活動プログラムを組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児発管および該当児童に詳しい職員が同席して担当者会議をすすめている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		学校との情報共有、対面会議なども実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1		主治医の意見を伺い、支援に役立てている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	3	就学前の保育園や幼稚園との情報共有は行ったことがない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		学校卒業の1年前から次のステップにスムーズに進めるよう各所と情報共有をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3		子ども発達センターとの情報共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	2	最寄りの公園などで健常児との交流がある。
27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	2	4		現時点ではこどもふくし協議会へ積極的に参加している。	

28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	6			連絡帳や対面、電話などで保護者と密に 連絡を取り合い、情報共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか				保護者の悩みや希望を聞き、事業所とと もに支援が行えるよう取り組んでいる。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		契約時、相談時、面談時に丁寧に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			日頃から保護者に対する相談などにも対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	それぞれのプライバシーや保護者の意向も考慮し、これまで実施したことはない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情解決に関する組織を設置し対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			グループラインやお手紙などで報告している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			十分に配慮している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		適宜対応できている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4	地域を含めた行事は行ったことがない。今後検討したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		5	1	緊急時対応マニュアル等は策定し職員に周知しているが保護者への周知は行っていない。 速やかに対応したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			火災、地震、災害時の避難訓練を定めた時期に定めた回数行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止委員会を設置し、定期的な研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			対応できている。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			児童全員のアレルギーについて記録している。 保護者、医師の指導のもと対応できている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			常時ヒヤリハットを作成し、今後の安全対策に役立てている。